

国語科学習指導案

学校名 海田町立海田小学校

- 1 日時 平成29年10月27日(金) 第5校時
- 2 学年 第6学年2組 男子13名 女16名 計29名
- 3 単元名 町立図書館で本の紹介をしよう
「海のいのち」(東京書籍6年)

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領国語第5学年及び第6学年の内容「C読むこと」の指導事項「エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」を受けて設定している。その際、言語活動例「エ 本を読んで推薦の文章を書くこと。」を位置付ける。

本教材は、主人公である太一が様々な人との出会いによって成長し、父の敵として追ってきたクエと対面する日を迎えるという物語である。この作品を読み進めることで、山場に向かうまでの太一の心情の移り変わりや物語の舞台である海の壮大さを感じるとともに、人物相互の関係をとらえたり、登場人物の深い心情や象徴性や暗示性のある描写、題材を強く意識させる表現に気付いたりすることができる。このことから本教材は、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめる力を付けることに適していると考えられる。

(2) 児童観

省略

(3) 指導観

指導に当たっては、まず、教材文をもとに、「人物と人物との関係を考える」「表現の工夫を見つける」「物語の山場を考える」「自分なりの感想を持つ」などの活動を通して、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめる。さらに、並行読書を行い、他の物語においてもその力を活用することができるようにする。そのため、次の点に留意して学習を進めていく。

一つ目は、児童が主体的に課題を発見し解決する授業づくりを行うことである。そのために、初読の際に、「作品を読んでみんなで考えていきたいこと」をテーマに課題を見つけさせ、課題を解決するためにどのように作品を読んでいけばよいか、既習事項をもとに考え話し合う。次に、そこで読み取ったことをもとに自分の考えを読書アルバムにまとめ、9月に見学した町立図書館で紹介するというゴールを設定する。単元の終わりに、町立図書館で「海田小学校6年推薦図書コーナー」を作ってもらい、地域の方々にも見てもらえるような環境を整えていく。

二つ目は、第二次での自分たちが設定した課題について解決するための根拠となることを読み取る活動を、丁寧に進めていきたい。そこで、全ての文章をA3版1枚にまとめたものを配布し、「太一に影響を与えた登場人物の考え」「物語の中で一番大事だと思う言葉」「太一の生き方や考え方が表れていると思う言葉」「『海のいのち』という題名の意味」に関する必要な情報を見つける活動や、そこから読み取ったことを根拠にして自分の考えをまとめる活動を取り入れる。

これらの活動を通して、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について読み取ったことをもとに自分の考えをまとめる力を育てたい。

5 単元の目標

- 読書アルバム作りをするために読むことの既習事項を確認し、物語の感動の中心をとらえながら読もうとする。【国語への関心・意欲・態度】
- 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。【読むこと エ】
- 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(カ)】

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
エ「本を読んで推薦の文章を書く言語活動」を通した指導		
・読むことの既習事項を確認しながら物語の感動の中心をとらえながら読もうとしている。	・登場人物の相互関係から人物像やその役割をとらえ、登場人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などを通した表現などの優れた叙述に着目して自分の考えをまとめている。(エ)	・言葉の正しさや美しさをとらえたり、その言葉が適切であるかどうかを感じ取ったりしながら読んでいます。 (イ(カ))

7 指導と評価の計画（全11時間）

次	時	学 習 内 容	評 価			
			関 心 意 欲	読 む 能 力	語 言	評 価 規 準 (評 価 方 法)
一	1	課題の設定 立松和平の作品のよさを伝える相手や方法を話し合う。	○			読むことの既習事項を確認しながら物語の感動の中心をとらえながら読もうとしている。 【関・意・態】(発表, 読書アルバム)
	2	本文を読み、解決したい課題について話し合い、既習事項を活用した学習計画を立てる。	○			・読むことの既習事項を確認しながら物語の感動の中心をとらえながら読もうとし、進んで学習計画を考えている。 【関・意・態】(発表, 読書アルバム)
二	3	情報の収集 中心人物の変化にかかわる登場人物の役割を読み取る。		○		・物語の特徴を把握して推薦するために、登場人物の相互関係から人物像や役割をとらえている。 【読む】(発言・読書アルバム)
	4 (本時)	自分の考えた人物関係図を作成しながら意見を交流することで、それぞれの登場人物の役割について考える。		○		・物語の特徴を把握して推薦するために、登場人物の相互関係から人物像や役割をとらえている。 【読む】(発言・読書アルバム)
	5	表現の工夫について話し合い、その描写が物語で果たす役割について考える。		◎	○	・物語を推薦するために、登場人物の行動や会話などについての優れた叙述に着目して、内面に描かれた心情を想像して読んでいます。 【読む】(発言・読書アルバム)
	6	物語の山場がどこになるのか考える。		◎	○	・物語を推薦するために、登場人物の行動や会話などについての優れた叙述に着目して、内面に描かれた心情を想像して読んでいます。 【読む】(発言・読書アルバム)
	7	最初に立てた課題についての自分の課題をまとめて交流する。		○		・物語を推薦するために、登場人物の相互関係から人物像や役割をとらえたり、登場人物の行動や会話などについての優れた叙述に着目して、内面に描かれた心情を想像したりしながら読んでいます。 【読む】(発言・読書アルバム)
	8	物語が自分に最も強く語りかけてきたことを短い言葉でまとめ、太一の生き方についての自分の考えを話し合う。		○		・物語を推薦するために、登場人物の行動や会話などについての優れた叙述に着目して、内面に描かれた心情を想像して読んでいます。 【読む】(発言・読書アルバム)

三	9・10	資料の分析 「いのちシリーズ」で読んだ本の中から推薦図書を選択し、感動の中心をおさえた本の紹介を作る。	○	・物語の特徴を把握して推薦するために、登場人物の相互関係から人物像や役割をとらえ、登場人物の行動や会話などについての優れた叙述に着目して、内面に描かれた心情を想像して読んでいる。 【読む】(発言・読書アルバム)
	11	まとめ 交流を通して、推薦図書コーナーに置く読書アルバムを決める。	○	・物語の特徴を把握して推薦するために、登場人物の相互関係から人物像や役割をとらえ、登場人物の行動や会話などについての優れた叙述に着目して、内面に描かれた心情を想像して読んでいる。 【読む】(発言・読書アルバム)

8 本時の学習

(1) 本時の目標

人物関係に着目して交流することを通して、人物像や役割を読み取ることができる。

【読むこと エ】

(2) 観点別評価規準

物語の特徴を把握して推薦するために、登場人物の相互関係から人物像や役割をとらえている。

(3) 準備物

掲示物(既習事項, 単元の計画表), 読書アルバム

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項(・) 「◆努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て	評価規準 教科の指導事項(○) (評価方法)
導入	1 既習の確認をする。	・自分達の設定した課題 「なぜ太一はクエをうたなかつたのか。」	
	2 本時の課題を確認する。	・前時のふりかえりをし、めあてを考える。	
	太一のクエをうたないという選択にかかわる、それぞれの登場人物の役割について自分の考えをまとめよう。		
展開	3 自分が選ぶ、太一の選択に大きな役割があったと思える人物ランキングと、それぞれの人物の役割をペアで交流する。	・一目で物語全体を見ることができるよう、A3版のワークシートに全文の内容が収まったものを渡しておき、友だちの考えは青で、それにより変化した自分の考えは赤で記入する。	
	4 同じ人物を1位に選んだグループで交流する。	・同じ人物を1位に選んだ3~4人のグループで、人物関係図を作成しながら意見の交流をし、情報を共有する。その際に、なぜその文章に線を引いたのか、理由も交流するようにする。 ◆自由に意見を書き込めるように、それぞれのグループに白板とマジックを渡す。	
	5 全体での意見交流をする。	・質問・意見交流をし、それぞれの登場人物の役割について話し合う。 ◆友達のことを青鉛筆で書き加えることで、人物関係図を作成していくことができるようにする。	

まとめ	<p>6 本時のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> なぜ太一はクエをうたなかったのか、現段階での自分の考えをまとめる。 友だちの考え方でよかったものや影響を受けたものについてもまとめる。 	<p>○物語の特徴を把握して推薦するために、登場人物の相互関係から人物像や役割をとらえている。</p> <p>(交流・ノート)</p> <p>人物関係をつかみ、太一の選択に関するそれぞれの登場人物の役割についてとらえることができている。</p>
	<p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> おとう・・・太一の夢はおとうのような漁師になることであり、おとうは海の恵みに感謝する漁師だった。太一はそのおとうの考え方に影響を受けた。 与吉じいさ・・・太一は与吉じいさから様々なことを学んだ。与吉じいさは「千匹に一匹でいい」と語っていた。太一はその考え方に影響を受けた。 母・・・太一は母の悲しみさえも背負おうとする青年に成長した。母の思いを受けて、太一はクエをうつことをやめた。 		

(5) 板書計画

・おとう・・・太一の夢はおとうのような漁師になることであり、おとうは海の恵みに感謝する漁師だった。太一はそのおとうの考え方に影響を受けた。

・与吉じいさ・・・太一は与吉じいさから様々なことを学んだ。与吉じいさは「千匹に一匹でいい」と語っていた。太一はその考え方に影響を受けた。

・母・・・太一は母の悲しみさえも背負おうとする青年に成長した。母の思いを受けて、太一はクエをうつことをやめた。

なぜ太一はクエをうたなかったのか。

課題

登場人物

- 太一
- おとう
- 与吉じいさ
- 母

海のいのち

立松和平

太一のクエをうたないという選択にかかわる、それぞれの登場人物の役割について自分の考えをまとめよう。